

來ル十一日、石清水社行幸御道筋堺町御門三條油小路御順路、町在并裏借家ニ至迄、火之元入念可申候、

右之趣、町在并洛中洛外江、不洩様急度可被相觸もの也、

四月

別紙

今度石清水社行幸者、攘夷之御祈誓之思召に而、萬民之憂を被爲救候御趣意に被爲在候間、通御之御途中、下々傷損に相成候而者、被惱宸襟候間、精々質素に相心得可申候、無據儀者格別に候得共、決而取繕費用相立候儀、叡慮貫徹にも不相成候、折角御仁愛之思召にも相背候間、屹度相心得可申候、

右之趣、通御筋者勿論、洛中洛外江、不漏様可相觸もの也、

四月

御警衛人員

明後十一日、石清水社行幸之節、御途中御警衛、左之通可被心得候、

一 御鳳輦左右御警衛

總勢凡八百人

兩御番 三百人 新御番 二十一人

大御番 百人 小十人 二十二二人

御徒三組 六十九人 清水附 二百四十人

一 隨身加勢

同 凡二百人